

龍源寺報

令和4年（2022年）秋彼岸号

臨濟宗・妙心寺派	住職 松原信樹
佛母寺住職	松原覚樹
正福寺住職	松原行樹
TEL	3451-1853
FAX	3451-6094

振込 00160-0-104918 東京都港区三田5丁目9-23（郵便番号 108-0073）

Email: info@ryugenji.com URL: http://www.ryugenji.com

秋彼岸に思う

松原 信樹

仏教の教えは、「生老病死」という、生まれ出でて、老い、病を得て、亡くなる人生を「苦」というどうにもならないこととして受け入れていくことから出発する。そして、人生を「苦」として受け入れざるを得ない理由を、自分の生存に固執する「渴愛」の心とし、渴愛の心を断じ、解脱の涅槃の境地に到達するならば、苦を滅すことができるはずだと仏教は主張する。

実際、最古の仏教思想を伝えるものとされる『スッタニパーダ』によれば、「生まれたものどもは、死を遁れる道がない。老いに達しては、死ぬ。実に生あるものどもの定めは、このとおりである」として死の不可避性が説かれる。しかも、不死を望むことをも許されない。なぜなら、それは生への執着にほかならないからである。つまり、仏教の目指すところは、生死の二元論的対立を超越するということである。

ただ、このような仏教の悟りの境地が単なる言葉ではなく、現実の体験的な事実として、理解されるには、若干、問題が残っているように思う。とりわけ、生や死に捕らわれない生死の

二元論的対立を超越する悟りの境地が、どのようにして、現実の世界という葛藤や矛盾に充ちた世界で、しかも、そこに生きなければならぬ人々に対して具体的な形として問えるかが問題である。むしろ反対に、生存への執着をどことん突きつめ、それを徹底してゆくことによつてこそ、生死の二元論的対立を乗り越える境地が開かれうる、ということもまたあるのではないであろうか。生死に捕らわれないといった解脱や悟りでなく、むしろ反対に、死にさらされた人生の現実の分裂と対立、苦悩と葛藤を直指し、それを徹底して自ら引き受け、その中でもがき苦闘することを通して、人生を積極的に戦い抜いてこそ、自己の存在の本質と限界を知りえ、限りのある人生を肯定し、死をも受け入れることが可能になるということもあるのではなからうか。

たしかに私達の人生のうちには死の影が落ち、ほろびゆく儂さが纏いついてはいる。けれども、それに背を向けたり、そこから逃避しようとするのではなく、むしろ、そこに不生不滅という、永遠の生成と変化、いわゆる「積極的なもの」を見いだしていけるのではないであろうか。

ご寄付

金三十万円也 故 石井好子殿

金五万円也 匿名殿

ありがとうございました

※大変貴重なご寄付をありがとうございました。現在龍源寺のある古川橋周辺は、大規模な再開発が行われております。そのような中で、寺院を文化資源の一つとして考え、境内整備に力を入れております。未熟者ですが今後とも宜しくお願い申し上げます。

松原信樹

秋彼岸法要

一、九月二十三日（秋分の日）

午前十時 落語会

午前十一時 彼岸会法要

・駐車場はありません。

南北線をご利用ください。

お願い

※新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、外階段・エレベーターを使って、お焼香をお願い致します。午前十一時より、読経時間は二十分です。その間にご来山下さい。

龍源寺落語会

立川談修さん



プロフィール

落語家。立川流所属。

立川談志が認めた最後の真打。

一九七三年 船橋市生まれ

一九九五年 立川談志に入門

二〇一三年 真打昇進

令和四年九月二十三日

午前十時～十時四十五分

*受付は九時三十分より

当日受付・会費無料

皆様お待ちしております

住職

柳 緑

秋彼岸会を迎えます。皆さま
いかがお過ごしでしょうか。

花 紅

龍源寺では、コロナ禍での制
限があっても、できる限り多
様な活動ができるように工夫
してきました。その中で今年の二月から

世界情勢が大きく変化していることを考
えると、本当に考えさせられます。私た
ちが思っていた平和についての見通しと
いった、将来像が大きく揺るがされてい
ます。二〇二〇年の新型コロナウイルス
出現の時にも、世界全体に関わる大きな
出来事でしたけれども、そのときは、世
界全体で協力していきましょうというよ
うな空気がありました。今では、世界の
中で深い対立関係が明らかになっていま
す。平和の構築について考え直さなけれ
ばなりません。▼今年のお彼岸会は、お檀
家さまである占部さんのご子息で、落語
家の立川談修さんに午前十時より四十五
分間、落語をお願い致しました。仏教と
娯楽（芸能）が一体となっていた時代の
姿こそ生きた仏教の姿だと思えます。落
語会に来られる方は、午前九時三十分よ

り受付を致します。当日の受付で、落語
会の会費は不要です。私も拝聴させてい
ただきたいと思えます。大変貴重なご縁
ですので、是非ご来会いただけたらと思
います。また、秋彼岸会の法要のみにご
参列の方は午前十時五十分より受付をお
願い申し上げます。▼古川橋周辺の再開発
によって、建物の高層化という問題はあ
るのですが、以前より樹木が増え、歩道
が広くなり、環境が良くなりました。た
だ、しばらくの間、古川の護岸工事が続
くようです。地域の文化資源の一つとし
て龍源寺を捉え、境内の樹木を大切にし
ていきたいと思えます。▼家内は、会社の
仕事と育児、お寺の仕事で忙しくしてい
ます。客室乗務員の仕事としてシカゴに
二泊四日といった具合によくやっています
など感心しています。娘の瑞樹は、夏休み、
長野県伊那市に二泊三日の合宿にでかけ
ました。二泊とはいえ、結構しっかりし
て帰ってきたことに驚きました。そうい
えば、龍源寺でも以前に、北軽井沢・日
月庵で子供会を開催したことがあります
た。やめた理由は様々にあるのですが、

友人のお子さん数人といった感じで無理
なく面倒をみれる範囲で再開できたらと
思っています。今年喜寿を迎えた母は、
家内が仕事で留守している時に、食事、
洗濯、掃除をしていたいています。今
年、初めて、蓮の花が咲いたと喜んでい
ました。何かお祝いをしなければならな
いと思いつつ、先延ばしになっています。
▼寺院とは、さまざまな苦しみや悩みの
受け皿となり、正月、お盆、彼岸など行
事とおして季節感を感じていただき、
地域に寄与すべきものだと考えます。そ
のため、龍源寺では、門を外し、どなた
でも出入りできるようにしています。朝、
歩道の掃除をされていて、若い方が挨拶し
てくださいます。なぜかほっとします。▼
九月二十三日、午前十時より落語会、引
き続き午前十一時より秋彼岸会を厳修致
します。堂内ではマスクの着用、サーモ
グラフィでの検温をお願い致します。外
階段を使つての外からの御焼香もできま
す。もちろん御来山いただかなくても、
ご連絡いただければ御回向させていただきます。
寺族一同お待ち申し上げます。